

# 日本W杯出場

# 世界第1号 アジア最終予選 ウズベクを下す



W杯4大会連続出場を決め、喜ぶ中村俊（右）ら日本イレブン＝6日、タシケント（共同）

【タシケント6日共同】

サッカーの2010年ワールドカップ（W杯）南アフリカ大会アジア最終予選A組の日本は6日、タシケントのパフタコル競技場でウズベキスタンと対戦、1-0で勝ち4大会連続4度目の出場を決めた。日本は6大陸に分かれた予選で2大会連続の突破第1号となった。

日本は前半9分、岡崎慎司（清水）がシュートした後、GKにはじかれたボールを頭で押し込み先制。その後も激しい当たりをみせる相手と互角に渡り合い、最後まで集中力を切らさなかった。

5チームのうち上位2チームが出場権を得るA組で、日本は通算4勝2分けの勝ち点14とした。

日本は残り2試合に敗れても、通算4勝1分け、勝ち点13のオーストラリア以外の3チームが日本を勝ち点で上回る可能性がなくなったため、日本の2位以上が確定した。